

(註四) 経営が米国長老教会フィラデルヒア婦人伝道局に

移った。また明治二十二年九月には、中六番町を去り築地の新栄女学校とともに上二番町に移転、合併して

現在の女子学院となっている。(左図参照)

(註五) 女子学院は、明治三十年代に二回の火災、および

第二次大戦の空襲をうけたので当時の記録は悉く消失現在この幼稚園に関しては「女子学院五十年史」および

A六番女学校
明治三十九年
明治三十九年
本國長老教会婦人伝道局派遣のカルメル夫人の経営
数名の女子を集め、英語の手ほどき開始

原女学校
明治九年
明治九年
銀座三十四番地通り
カルメルの門下生
原明がA六番
の廃校をまいて設立

B六番女学校
明治六十九年
米国長老教会ニューヨーク婦人伝道局派遣
のミス・パークとミス・ヨンゲンが経営

新栄女学校
明治九十二年
明治九十二年
築地新栄町二十二番地
B六番女学校がクラハム女学校と名を改め、更に
その年に新栄女学校と改称

女子学院

桜井学校
明治九十二年九月

である。

(註八) 明治十六年であるのか、十七年であるのか定かでない。

(註九) 中六番町の誤りか。

(註十) 一八六〇年十二月十一日フロリダ州に生まれた。

一八八四年に二十代の若きをもって来日。一九二四年まで宣教師として、また幼稚園の園長として更に女子学院に教鞭をとった。一九五二年(昭和二十六年)二月三日、九十一

歳の高齢にて没す。

(註十一) 山田耕作の妹。山口県萩の秋芳洞を初めて探険したガントレット

の妻となった。

ガントレット恒子は、桜井女学校の経営が米国長老教会フィラデルヒ

ア婦人伝道局にひきつがれる前、六歳の時から入学し、明治二十三年に女子学院を卒業し、卒業後、この幼稚園すなわち桜井学校付属幼稚園

(女子学院)になってから何と称したか不明)の保姆をしていた人である。昭和三十四年歿。非常に記憶力のすぐれた人であったといふことをきいている。

(註十二) 註四にみる如く新栄女学校と桜井学校が合併して女子学院となった時、当時米国の女学校に流行していたカデジ・システムをまねて、二つの校舎を建て

「グラハムホール」と「桜井ホーム」とした。そして桜井学校の生徒を「桜井ホーム」に收容したから「桜井部」と呼んだものと思われる。

にほんの少し記されているが、それによれば、退職軍人であったとある。

(註七) ミセス・ツルギーが、バラ夫人の志を継いだもよう

幼児の教育 第六卷 第十号

十月号 © 定価 六十円

昭和三十六年九月二十五日印刷

昭和三十六年十月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三〇一

発売所 株式会社フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレールベル館にお願いいたします。